

## 千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2024年12月吉日発行

千葉県PRマスコットキャラクター「バくん」  
千葉県許諾第A 287-18号

## 千葉陸上競技協会との出会い

副会長 岩本 一雄

私が初めて国体に出場したのは、昭和44年開催の第24回長崎国体でした。弱冠19歳、まだ駆け出しの私にはとても感慨深いものでした。それ以降選手として9回、監督として16回出場し7回の天皇杯優勝を経験しました。監督退任後は副会長として10年間在職し、ほぼ半世紀にわたって千葉陸上競技協会と関わらせていただきました。

羽計、瀧田両恩師に陸上競技の何たるかを教わり、現役を退いて指導者になってからもご教授をいただき、特に強化委員長になってからは、お二人の千葉陸上競技協会での多大なる功績をひしひしと感じたものです。

現役時代、国体に育ててもらった私にとって、強化委員長・国体ヘッドコーチとしての16年間は、国体で恩返しをすることだけを考えてきました。黄色のジャージを身にまとい、コーチ・選手と共に必死に戦った16年間のことは、今でも鮮明に覚えております。これもひとえに、会長ならび理事長をはじめとする協会の方々のご理解とご協力があったることと感謝申し上げ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨今、陸上競技の形も少しずつ変わってきました。部活動が地域連携・地域移行へ推進されたことにより、学校の働き方改革や子供の技術向上という点では好影響を及ぼしたのかもしれませんが、また、国民体育大会も国民スポーツ大会と名称が変わり、より多くの国民に身近に感じてもらえるようになってきました。知育・徳育・体育の時代を過ごしてきた私にとっては、正直寂しい感もありますが、これも時代の流れとして受け止めております。しかし、どんなに時代が変わり形が変わっても、「陸上王国千葉」といわれた時期に人生の大半を費やした私は、千葉県のアスリートたちには『競技に対するひたむきな心』だけは忘れることなく、競技に向き合ってもらいたいと願っております。

最後に、関係の皆様におかれましては、今後とも本協会的发展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 陸上部紹介

## 「印西市立印旛中学校」

本校は、印旛沼の豊かな自然に囲まれた、印西市にある中学校で、今年度創立50周年を迎えました。陸上競技部は男女合わせて22名の部員で、和気藹々と活動しています。また、「走思走愛」というスローガンを掲げ、陸上競技を楽しむことをテーマに、時には生徒自身で練習メニューを考え、全員で協力し活動を行っています。部員の中には、陸上未経験者もありますが、地域のクラブチームに所属している生徒も多く、技術面での教え合いや助け合いが自然と生まれる環境にあり、地域と連携した部活動を行っています。現在は、体力づくりを中心とした日々の練習で自分自身を鍛え上げるだけでなく、部員全員で支え合い、また切磋琢磨することでチーム全体を成長させることも目標にし、冬期練習に励んでいます。

令和5年度は、関東大会出場、県駅伝・県新人駅伝大会出場と県大会以上で活躍しました。今年度は、関東大会出場、千葉県総合体育大会女子総合優勝、千葉県新人体育大会で男女総合優勝・女子総合優勝を達成、加えて県駅伝大会出場と、昨年度を上回る成績を残すことができました。

来年度も、部員一同で陸上競技に臨む姿勢を、自ら考えを大切に、互いに支え合いさらなる高みを目指していきます。印西市立印旛中学校陸上競技部の応援をよろしくお願いいたします。



## 「千葉県立流山南高等学校」

私たち流山南高等学校陸上競技部は、全国高校総体に連続出場し、関東高校総体での優勝や関東駅伝出場を果たすなど、数々の実績を誇ります。現在も大学で活躍する卒業生もいます。これらの





成果は、選手たちの努力と情熱、そして支えてくださる仲間たちの力によるものです。

主な練習は、基礎動作を構築するための身体の使い方を重視しています。そのため、選手一人ひとりが自分の身体を理解し、適切に活用できるように指導しています。基礎をしっかりと固めることで、応用力や競技の幅を広げていくことを目指します。選手たちには、身体の動きや感覚を意識しながら、基本から丁寧に練習を重ねてもらっています。練習の取り組み方についても、常に最適な方法を模索し、単なる反復練習ではなく、各選手の特長や目標に応じたトレーニングプランを作成し、個別に指導を行っています。選手たちは自分の課題を明確にし、効率的に技術を向上させるよう努力しています。さらに、練習後には振り返りの時間を設け、成果や改善点を共有することで、仲間同士での学び合いを促進するよう心掛けています。

これからも全国高校総体に出場できるよう基礎練習を徹底し、チーム一丸となって努力していきます。

応援よろしくをお願いします。



## 団体紹介 木更津市陸上競技協会

GOAL !!

木更津市陸上競技協会は昭和23年に木更津市体育協会（現スポーツ協会）の発足と同時に陸上競技愛好者有志により加盟団体として設立され、当時固定した会員はいませんでしたが、木更津中学校（現木更津高校）の卒業生や教職員が中心となり活動していました。

昭和50年ごろまでは県民体育大会への選手選考や参加のための強化練習が主でしたが、元旦マラソンが始まると市の運営に協力してきました。そのころから陸上競技場の建設を要望してきました。しかし話は何度か出てきましたが、なかなか建設までには至りませんでした。それから漸く、令和元年に待望の3種公認の陸上競技場が完成しました。当初は江川陸上競技場でしたが、市指定管理者のオーエンス陸上競技場となり令和2年の晩秋に公認の中長距離記録会を開催しました。昨年からは短距離やリレー種目も取り入れ、オーエンストラック競技会として短距離種目としてはシーズン最後の記録会となり実施しています。

また、2012年から2年に一度開催される「ちばアクアラインマラソン」の準備段階から大会終了まで、地域のボランティアの皆様と共に委員や審判として協力し、県の魅力発信とスポーツの振興に寄与しています。今後は市民の一人でも多くの方々に陸上競技の楽しさを知る場を提供できるよう努力していきたいと思っています。





記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者・駅伝結果



第51回全日本中学校陸上競技選手権

(R6.8.17～20 福井・9.98スタジアム)

男子100m 小寺慎之助 習志野四中 ①10.70  
男子110mH 後藤 大樹 四街道北中 ①13.93

日清食品カップ

第40回全国小学生陸上競技交流大会

(R6.9.22 東京・国立競技場)

5年男子100m 成澤 秀真 SAA ①12.65

第78回国民スポーツ大会

(R6.10.11～15 佐賀・SAGAスタジアム)

少年男子B110mJH 後藤 大樹 四街道北中  
①13.83 大会新記録

成年男子110mH 阿部 竜希 順天堂大学 ①13.29

天皇杯 3位 105点

皇后杯 12位 38.5点

第93回日本学生対校陸上競技選手権大会

(R6.9.19～22

神奈川・UvanceとどろきスタジアムbyFujitsu)

男子110mH 阿部 竜希 順天堂大 ①13.40

女子10000mW 梅野 倅子 順天堂大 ①46:37.36

第17回U18陸上競技大会

(R6.10.18～20 三重・三重交通Gスポーツの杜伊勢)

U18男子300mH 齋藤 悠仁 八千代高 ①36.00

みんなでつなごうリレーフェスティバル2024

(R6.10.5～6 東京・国立競技場)

U16女子4×100mR ①46.48 大会新記録

横山 柚希 柏田中中

石郷 岡暖 四街道北中

西山 凜星 八日市場二中

ハッサンアマール 松戸五中

第55回U16陸上競技大会

(R6.10.18～20 三重・三重交通Gスポーツの杜伊勢)

U16男子110mH 後藤 大樹 四街道北中 ①13.91

U16女子150m バログンハル 市川高 ①17.99



発行 一般財団法人 千葉陸上競技協会

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323

千葉県総合スポーツセンターちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内

TEL 043-252-7311 / FAX 043-252-7314

<http://www.jaaf-chiba.jp/>